

PEFCスタックの実機想定プログラム試験

全自動スタック評価装置とインフラを用いて、
お客様ご要望のプロトコルを24時間体制で試験することにより、スタック開発を加速します

背景

PEFCスタック試験の課題

- FCV・HDV開発の推進にあたり、スタック試験の**作動温度の高温化**や**実運転環境の模擬**が求められています
- お客様独自のプロトコル開発が進んでおり、**複雑なプロトコル試験**が要望されています

KRIの取り組みと、スタック試験技術の特徴

KRIの自動プログラム試験装置は、安全にご要望の試験を実現します

- ・全自動プログラムでの各種プロトコル試験
- ・非常停止時のスタック保護機能

KRIの取り組み

- ・全自動プログラム試験装置を複数台保有

(空冷式燃料電池用評価、100kW級評価の対応装置においても随時、領域拡大中)

全自動プログラム試験装置



大容量水素供給設備



空気供給設備

特徴③ 保有スタックで事前検証

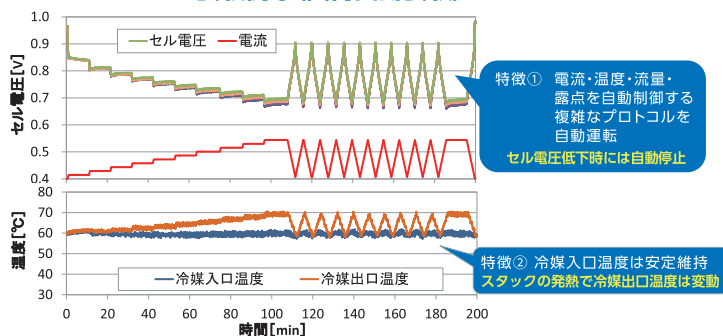
特徴④ 大容量インフラ

KRIのスタック試験技術の特長

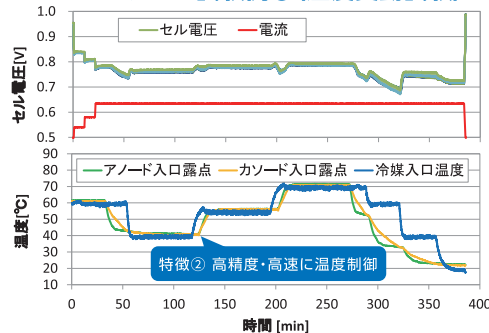
スタック試験を、高精度に、効率的に実施します

- 特徴① 24時間プログラム試験により、ご要望のプロトコルを短期間で評価
- 特徴② 高精度・高速制御により、ご要望のスタック試験プロトコルに対応 (高温試験にも対応可能)
- 特徴③ KRI保有スタックにて事前のスタック試験プロトコルの内容確認が可能 (装置改造のご相談も可能)
- 特徴④ 大容量水素供給設備等のインフラ設備を有し、数kW級から100kW級の試験に対応

プログラム試験例① (負荷変動試験)



プログラム試験例② (温度変動試験)



ご提案

社外試験用ラボとしてご活用ください

- 発電試験は、kW級のスタックを中心に行っています。高温試験など特殊条件についてもお相談ください
- 空冷式燃料電池についても、各種試験・解析に加え、必要治具の作製も承ります
- 100kW級スタック試験に関してもお気軽にお問い合わせください

一緒なら、
見つかる
答えがある。

KRI
Your Innovation Partner

株式会社KRI

tel:06-6464-9237 mail:kri-ned@ml.kri-inc.jp

パネルデータこちら▶

